



## 報道発表

2020年1月17日

### 株式会社マイオリッジへの投資について

京都大学イノベーションキャピタル株式会社（以下「京都 iCAP」）（本社：京都市左京区、代表取締役：室田浩司）を無限責任組合員とするイノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合（以下「KYOTO-iCAP1 号ファンド」）は、京都大学の研究成果を活用するベンチャー企業である株式会社マイオリッジ（以下「マイオリッジ」）（本社：京都市左京区、代表取締役：牧田直大）に対する投資を実行いたしました。

#### ○今回の投資の概要

マイオリッジは、京都大学 物質-細胞統合システム拠点（iCeMS）の研究成果を基に、南一成博士（iCeMS 元特定拠点助教、現大阪大学医学研究科特任准教授）らにより設立されたベンチャー企業です。

幹細胞（自己複製能と様々な細胞に分化する能力を持つ特殊な細胞）から医療用の細胞製品を製造するには、同じ品質の細胞を低コストでいつでも供給できることが必須の要件となります。マイオリッジ社は、独自の酵素阻害剤を中心とする低分子化合物群による細胞製造システムを保有しています（京都大学から 5 件の特許許諾を含む）。これにより、細胞製造でこれまで必須とされていた高価な蛋白質を使う必要がなく、また、品質や活性が安定した低分子化合物を使用することで、安定かつ高効率の細胞製造を可能としました。

心筋細胞の製造においてはこれまでに、製造コストを約 1/100 に低減（蛋白質を使用した培地との比較）することができました。また、医療応用が期待される心筋細胞以外の複数の細胞種へこの製造法の応用が可能であることを確認しているほか、培養機器の研究開発を進めています。

京都 iCAP では、マイオリッジが細胞医薬の品質保証と安定製造を担う細胞エンジニアリング企業として、iPS 細胞を中心とする幹細胞を原料とした細胞医薬の実用化に貢献する可能性に期待し、2019 年 12 月 23 日に RFI アドバイザーズ株式会社（代表取締役：坂本啓晃）を無限責任組合員とする投資ファンドである地域次世代産業推進投資事業有限責任組合と共同で総額 2 億円（コミットメントベース）の投資契約を締結、2020 年 1 月 17 日に 46 百万円の投資を実行しました。

#### 株式会社マイオリッジ 概要

設立 2016 年 8 月  
事業内容 再生細胞医療の培養技術と関連技術の研究開発  
本社所在地 京都市左京区  
代表取締役 牧田直大



### ○京都大学イノベーションキャピタル株式会社（京都 iCAP）について

京都 iCAP は、京都大学 100%出資子会社として、京都大学を中心とした国立大学から生まれた研究成果を活用する企業を対象に投資やその他の事業支援を行っております。2016年1月には京都大学と民間企業からの出資を受け、同社を無限責任組合員とする 160 億円の KYOTO-iCAP 1 号ファンドを組成しました。同ファンドの満期は最長 20 年間に設定しており、基礎研究に強みを持つ京都大学の研究成果の実用化を長期にわたって支援することが可能となっています。また、起業に興味を持つ方々を対象とした会員組織である「ECC-iCAP」の運営を大学から受託しており、スタートアップ企業の経営者候補の発掘・育成にも力を入れています。

#### 【お問い合わせ先】

京都大学イノベーションキャピタル株式会社  
〒606-8317 京都市左京区吉田本町 36 番地 1  
事業企画部長（広報担当） 河野修己  
TEL：075-753-7588 FAX：075-753-7592  
E-mail：info@kyoto-unicap.co.jp